宇ノ気中学校だより

さわやか

《特別号》

令和４年１月１１日

校　　長　井上　勝文

学校・家庭・地域が連携した教育活動をより一層推進するため、12月に本校の教育活動に対する「保護者アンケート」を実施しました。多くの保護者の皆様から貴重なご意見をいただきました。また、授業や生活についてのアンケートを生徒や教職員にも実施しました。 前期同様、集計結果の概要についてお知らせします。

◆表中の数値は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒または保護者の割合です。

学校生活について

アンケートの結果では、「学校へ行くのが楽しい」と回答した生徒が全体の93%（1年生91%、2年生91%、3年生98%）でした。多くの生徒は学校で楽しく過ごすことができているようです。

	質　問　項　目	R３後期	R３前期	比較
生 徒	学校へ行くのは楽しいですか。	９３％	９４％	－１
	自分が困ったときに、悩みを聞いてくれたり、相談したりできる先生はいますか。	８２％	８０％	＋２
保護者	お子さまは、学校へ行くのが楽しいと言っていますか。	８６％	８７％	－１
	学校を信頼して子どもを預けていますか。	９５％	９５％	±０

新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言が解除され、２学期からは徐々にではありますが日常を取り戻しつつあります。９月には運動会、１０月には学校祭、そして当初の計画に比べ規模を縮小した形にはなりましたが、３年生にとって楽しみにしていた修学旅行が無事行われ、生徒たちにとってはかけがえのない思い出になったかと思います。また、部活動の制限緩和を受けて、他校との交流を深める機会も増えてきました。学校にとって「生徒が毎日楽しく学校生活を過ごしてくれる」ことが何よりうれしいことです。しかし、人間誰しも悩みがあるように生徒たちも勉強や部活動のことや人間関係などで、時には悩んだり落ち込んだりもします。**これからも保護者の皆様と連携し、子どもたちにとって良き理解者・アドバイザーとなれるよう、日頃から一人一人を大切にしたきめ細かな指導を心がけたいと思います。そして、すべての生徒が充実した学校生活を送り、保護者や地域からより信頼される魅力のある学校となるように努めていきたいと思います。**

２学期からは、玄関に２台の非接触型の体温計を設置するとともに、職員らによる校内の定期的な消毒も頻度を減らすことなく行っております。現在、新たな変異株によって感染者が増加しています。さらに、今後、インフルエンザの流行が予想される季節になるため、引き続き『検温・手洗い・マスク・消毒・換気』等、感染症対策を十分に徹底していきたいと思います。保護者の皆様もご協力のほどよろしくお願いいたします。

学習について

前期の生徒アンケートの結果を受け、２学期は、特に授業において「自分の考えを積極的に表現する生徒の育成」に力を入れてきました。校内で研修会を行い、職員間でさらなる学びの充実を図るための方策を検証し、実践に繋げてきました。その結果、前期に比べ多くの生徒が、自分の考えを積極的に表現できるようになってきました。アメリカの国立訓練研究所による研究結果によると、**自分の考えを他者に伝えたり、他者の意見と比較したり議論することで、より高い学習効果が得られることが実証されています。さらに、自分の考えやまとめたことを他者に伝えることで、より記憶に残ることもわかっています。**今後も、積極的に自分の考えを表現できる生徒が増え、活発な授業になることを期待しています。

	質　問　項　目	R３後期	R３前期	比較
生　徒	授業はわかりやすいですか	９７％	９９％	－２
	自分で計画を立てて勉強していますか	８１％	７９％	＋２
	自分の考えを積極的に表現（書いたり・話したり）できていますか	８４％	７０％	＋１４
	自分の考えを相手に伝え、考えを深めることができますか	８５％	８０％	＋５
保護者	学校は、分かりやすい授業や学力向上(学習内容の定着)に努めていますか	９５％	９４％	＋１
	お子様は、家庭学習に毎日取り組んでいますか	８１％	８１％	±０
	お子様は、自分で計画を立てて勉強していますか	７２％	６９％	＋３

家庭学習においては、「自分で計画を立てて勉強している」の割合が増加しました。しかしながら、これは受験生である３年生の割合が増加したためであり、１年生は逆に減少しました。これからも全校集会などで、学習の取り組みに関する時間を設け、丁寧に説明していきたいと思います。また、１２月に実施した２年生の県評価問題では、国語・数学・理科について解答状況の分析・考察を行い、具体的な改善のポイントを示し、授業に生かしているところです。

今後も、保護者の皆様と連携して、より良い家庭学習の確立ができるよう、ご協力をお願いします。

将来について

人類の進化や文明の発展は、その時代を生きてきた人々の『夢や目標』があったからです。より幸せに・豊かに、人生を生きるために…。そして大切なものを守るために。**夢や目標をもつと、それを叶えるためにたくさんの努力をし、失敗を重ねる過程で心が強くなります。その姿は、夢の大小にかかわらず、周りの人々に感動を与えます。**これからも、将来の展望を持って学習や学校生活に取り組んでいけるよう指導していきたいと思います。

	質　問　項　目	R３後期	R３前期	比較
生　徒	将来の夢や目標を持っていますか。	７８％	８１％	－３
	自分には、よいところがあると思いますか。	８２％	８１％	＋１
保護者	お子様は、将来の夢や目標を持っていますか。	６９％	６９％	±０
	学校は将来のことや進路について考えさせる指導に努めていますか。	８７％	８３％	＋４

「自分には、よいところがあるか」の自己肯定感を表す数値は 82％（R3 前期 81％）となっております。生徒たちの頑張ったことを褒めて・認めることで、自分に自信を持って行動できるよう、励ましや声かけ、支援に努めていきたいと思います。

規範意識の向上

２学期に入り、地域の様々な方々から「宇ノ気中の生徒のあいさつが本当に良くなった。以前のような活気がでてきた。」というお褒めの言葉をいただいております。また、１１月にたくさんの教育委員会の方々が来校された際、**「他校でもほとんどの生徒があいさつしてくれましたが、宇ノ気中はすれちがった１００％の生徒が、こちらの目を見てあいさつしてくれました。」**と、言ってくださいました。こういったあいさつも、授業や学校生活において、「自分の考えを積極的に表現する」ことに繋がっていくと思います。これからも全校生徒が一丸となって、本気で『あいさつ日本一』を目指します。

	質　問　項　目	R３後期	R３前期	比較
生　徒	こだわり清掃や黙働清掃ができていますか	９７％	９６％	＋１
	家庭や地域で、しっかりとあいさつをしていますか	９５％	９４％	＋１
	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか	９９％	９８％	＋１
	交通マナーを守って登校できていますか	100％	100％	±０
保護者	学校は、社会のルールや規範意識の育成に努めていますか	９６％	９６％	±０
	お子様は、家庭であいさつをしていますか	９６％	９１％	＋５
	学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってきますか	７９％	７６％	＋３
	本校生徒の交通マナーはよいですか	８２％	８１％	＋１

いじめについては、「どの学校でも、どの子供にも起こり得る」問題であることを十分認識し、「いじめは、どんな理由があっても、人間として絶対に許されない行為である」という意識を、一人一人の生徒に対して徹底し、これからもいじめの未然防止・早期発見に努めてまいります。

保護者の皆様、アンケートのご協力、また、貴重なご意見ありがとうございました。学校では学校評価の結果を踏まえ、それぞれの課題を改善しながら、より良い宇ノ気中学校を創っていきたいと考えております。今後とも、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

保護者の皆様からのご意見より

〇自転車通学の生徒が横に並んで通学しているので気を付けてほしいです。

〇毎日ご指導いただきありがとうございます。自転車下校についてですが、夏場は明るいため気になりませんでしたが、ヘルメットと安全ベストを着用せず、制服のみで走っているため、車の運転中に真っ暗で見えず危ないと思うことがあります。学校でもご指導していただけると安心です。

〇自転車通学の生徒が、歩道＋車道に出て複数で横並びになり帰る子達を見かけたことが何度かあります。自転車登校のマナーをもう少し厳しく指導して頂けたらと思います。

大変ご心配をおかけしました。自転車通学生徒については、４月当初に警察や地域の方々に協力していただいて、交通安全教室を開催し、正しい自転車の乗り方・マナーについて確認いたしました。今後も、全校集会等で粘り強く交通安全について呼びかけていきたいと思います。さらに、ＰＴＡの方々とも協力して、定期的に街頭指導を行いたいと思います。保護者の方々におかれましては、**危険な場面やマナーで気になることがあれば、遠慮なく学校に連絡していただければと思います。**また、ご家庭での声かけもよろしくお願いいたします。

〇いつもご指導いただきありがとうございます。思春期という難しい年頃ですが、何か起きた時には、問題が大きくなる前に連絡をくださったり、生徒に指導してくださり、安心して学校に預けることができます。

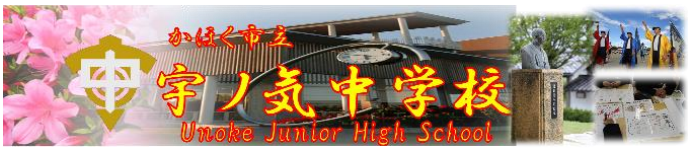
〇いつもありがとうございます。毎日部活の話をしてくれます。やる気にさせてくれる監督コーチ・周りの方々に感謝です。

〇いつもきめ細やかに見てくださっているのが伝わります。子どもの良き理解者でいてくださりありがとうございます。

日々、本校の教育活動にご理解いただきありがとうございます。昨年度から続く新型コロナウイルス感染症による様々な教育活動の制限によって、子どもたちも不安や悩みが多くあったかと思います。特に今年度の１学期の終わり頃から夏休みにかけて、日本における感染者数は過去最悪の状況となり、２度目の緊急事態宣言が発令されました。私たち職員も、大きな学校行事が控えている２学期を迎えるにあたって、「どのような形なら行えるのか」と、日々試行錯誤の毎日でした。そんな状況の中でも、**保護者の皆様の支えがあったからこそ、今現在多くの子どもたちが元気に楽しく学校生活が送れているのだと思います。私たちも、そんな生徒たちからたくさんの感動や勇気をもらっています。**今後とも、家庭・地域と学校が連携して、お子様の健やかな成長のために引き続きご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

〇学校公開や授業参観の時間が短く、コロナで仕方がないと思いますが、参加時間を長めにとってほしいと思います。

貴重なご意見ありがとうございます。学校としては、かほく市教育委員会の指示を仰ぎながら、可能な限り子どもたちの活動の様子を保護者の方々に参観していただければと考えています。また、**日々の子どもたちの活動の様子をホームページにアップしていますので、ご覧いただければと思います。**



○いじめを防ぐ取組については、全くわかりません。

本校のいじめの未然防止の取組についてご説明いたします。

定期的ないじめアンケートの実施・迅速な対応

学校において、毎月定期的にいじめアンケートを実施しています。数年前までは、帰りホーム時に行っていましたが、訴えがあった生徒に対して、**その日のうちに対応できるように昨年度より朝ホーム時に実施することにしています。また、chromebook で回答しているため、いじめの訴えをすぐに把握でき、迅速に対応できるようになりました。**

構成的グループエンカウンター（アドジャン）の実施

前期はコロナの影響で、対面での話し合い活動ができませんでしたが、後期に入りクラスで定期的に構成的グループエンカウンターを行っています。これは、グループ内でリーダーを決め、そのリーダーの指示した課題をグループ内で意見を出し合うことで、その時の素直な気持ちを表現でき、「心と心のキャッチボール」にもつながると言われています。**生徒たちは男女関係なく、とても楽しく参加できているようです。**

自己肯定感・自己有用感を高める指導

子どもの自尊感情を育てるために、自己肯定感や自己有用感を高める指導が有効であると言われています。自己有用感とは、「自分が大切にされている」「自分は必要とされている」という感情です。学校では、この自己有用感を育むために、**日々子どもたちの善い行いに対して、褒めて・認めて・伸ばす指導を心がけています。毎日提出する生活ノート（白雲）には担任が一人一人の生徒のコメントに対して、丁寧に回答させてもらっています。**また、さわやかカード等を通して、生徒の頑張りを多くの生徒が目にする場面を設定しています。１２月の学校だより（さわやか）にも触れましたが、そういう取組の効果があってか、２学期に入ってから校外でも生徒の善い行い（善行）が増えてきました。**勉強で頑張っている生徒、部活動で良い成績を残す生徒、どの生徒ももちろん素晴らしいですが、困っている人に手を差し伸べることができる心優しい生徒が一人でも増えてくれることを願っています。**

困っている高齢の方を助けて津幡警察署から感謝状を贈られた
猪谷さん・寺西さん・寺田さん

表面にも記載したとおり、いじめについては、「どの学校でも、どの子供にも起こり得る」問題であることを、すべての教職員が十分認識し、**「いじめは、どんな理由があっても、人間として絶対に許されない行為である」**という強い意志を、これまでも、そしてこれからも持ち続ける所存です。

いじめ問題への対応は、学校における最重要課題の一つであり、学校が一丸となって組織的に対応していきます。また、いじめの防止等の対策は、全ての生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう努めてまいります。今後とも、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。